

# モニタリング結果報告書 (平成27年度)

## 1. 施設概要

施設名	音楽堂		
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘9番地の2		
サイトURL	<a href="http://www.kanagawa-ongakudo.com/">http://www.kanagawa-ongakudo.com/</a>		
根拠条例	神奈川県立音楽堂条例		
設置目的(設置時期)	県民の音楽芸術の振興及び福祉の増進を図るため (S29.11.4)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川芸術文化財団		
指定期間	H23.4.1～H28.3.31	施設所管課	文化課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>平成27年度実績では、提案に基づいた管理運営が行われており、施設の稼働率は8割以上と高い水準で、来館者数も前年度に引き続き約17万人と目標値を大きく上回った。利用者アンケートで不満と評価した意見もなく、指定管理者に起因する事故・不祥事も発生しておらず、業務は適切に行われている。なお、3項目評価は利用状況、満足度、収支状況の評価結果からS評価となった。音楽堂は、開館から61年が経過し、施設や設備の老朽化など様々な問題が発生していることから、今後も引き続き、適切な管理運営に努めていただきたい。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づき、文化事業では県民に開かれた音楽芸術活動及び鑑賞の拠点として、木のホールの音響と空間を活用した公演「音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ」や「アフタヌーン・コンサート」を実施した。また、子ども・青少年への音楽体験では、小中学校へのアウトリーチ公演やプロの演奏家と触れ合うワークショップ、さらに今年で50回目を迎えた「メサイア」では、関連企画として、高校生だけによる「メサイア」全曲演奏会を開催するなど、様々な体験機会の提供に努めた。 施設管理の面では、施設・設備の老朽化やバリアフリーへの対応が課題となっている中で、歴史的な建造物としての特性を活用して、休館日に施設の見学希望を受入れたり、利用者からの要望に応じて開館時間を延長するなど、利用者ニーズに配慮したきめ細やかな対応を行うなど、提案どおりの実績を挙げている。</p> <p>◆利用状況 昨年度に引き続き、メディアを活用した広報を実施した結果、利用者数は目標達成率110.8%となりS評価となった。なお、60周年事業を実施した昨年度との対比では、利用者数が若干減少して▲1.3%となった。</p> <p>◆利用者の満足度 12月に施設を貸館利用した13団体にアンケートを依頼し、そのうち7団体から回答を得た結果、全て上位2段階の回答であったためS評価となった。アンケートの実施にあたっては、幅広く回答してもらえるよう、用紙を使用申込時に直接手渡すなど工夫を行っているが、回収率は前年を下回ったため、今後は利用終了時にも再度アンケートの回収を呼びかけるなど、工夫するよう指導した。</p> <p>◆収支状況 収支の状況は、年間を通じてほぼ計画通り執行されており、収支比率が100.4%なので、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 指定管理者に起因する苦情等はなかった。</p> <p>◆事故・不祥事等 5月13日、ホール外壁の北側屋上部分にコンクリート片が落下しているのを発見したと報告を受け、現地で確認を行った。事故の原因は建物外壁コンクリートの経年劣化によるものだった。指定管理者が、9月29-30日に危険箇所の補修を行った。 8月14日、ホール舞台上すのこ部分に躯体天井部分から小さなコンクリート片が落下しているのを発見したと報告を受け、県が現地で確認を行った。原因は5月13日の事故と同様にコンクリートの経年劣化によるものだった。指定管理者が、12月15日に補修を行った。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 指摘、指導等はなく、業務は適切に行われている。</p>	

3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
S	

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月に2回程度、指定管理者の行う事業をモニタリング	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設維持：開館日・時間についての柔軟な対応	・休館日の臨時開館を7日間、午前9時以前の利用を50日間、午後9時以降の利用を15日間行う等、利便性に配慮した柔軟な対応を行った。	
施設維持：歴史ある音楽ホールを活用しつつ継承する施設管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種定期保守点検を的確に実施。</li> <li>・27年度は以下の修繕を実施した</li> <li>●舞台天井裏スラブ補修工事</li> <li>●舞台木床修繕工事</li> <li>●煙感知器交換工事</li> <li>●外壁補修工事</li> <li>●電子錠制御盤更新工事</li> <li>●雨漏りやトイレ詰まり、空調機の不調など施設設備の不具合についても速やかに対応し、利用者・来館者に快適な空間を提供できるよう職員・委託業者のスタッフが一体となって細やかな対応に努めた。</li> <li>・利用の大半を占めるアマチュアの利用者に対する細やかなサポート等を通じ、高い利用率を維持することに努めた。</li> </ul>	
事業：木のホールの音響と空間を活かした音楽芸術活動及び鑑賞機会の提供	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会音楽堂シリーズ第4回」入場者数：758人、</li> <li>「第38回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会」入場者数：800人、</li> <li>「第31回かながわ音楽コンクールユースピアノ部門本選」入場者数：600人</li> </ul> <p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シュトゥットガルト室内合唱団」入場者数：956人</li> <li>・共催公演「第31回かながわ音楽コンクール ヴァイオリン部門本選」入場者数：120人</li> </ul>	

【6月】

・共催公演「第58回神奈川県合唱祭」入場者数延べ：4,700人、「ダンスカナガワフェスティバル(神奈川県芸術舞踊祭No. 102)」入場者数：700人

【7月】

・音楽堂 ヴィルトゥオーゾ・シリーズ13「アンサンブル・ウィーン=ベルリン」入場者数：881人

・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期音楽堂シリーズ第5回」入場者数：642人、「前橋汀子 無伴奏ヴァイオリンソナタ&パルティータ全曲演奏会」入場者数：973人

【8月】

・「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」入場者数：720人

・共催公演「第82回NHK全国学校音楽コンクール 神奈川県コンクール」入場者数延べ：7,100人、「第58回神奈川県合唱コンクール」入場者数延べ：2,200人

【9月】

・「音楽堂建築見学会vol. 8」入場者数：238人

・音楽堂アフタヌーン・コンサート「東京混声合唱団特別演奏会」入場者数：730人

・共催公演「第25回神奈川オペラフェスティバル第1夜<オペレッタ・ガラコンサート」入場者数：535人

【10月】

・音楽堂 ヴィルトゥオーゾ・シリーズ14「ギドン・クレーメル&クレメラータ・バルティカ “ニュー・シーズンズ”」入場者数：512人

・共催公演「第55回音楽堂・おかあさんコーラス」入場者数延べ：4,000人

【11月】

・「モディリアーニ弦楽四重奏団」入場者数：378人

・共催公演「第30回ヨコハマコンペティション(神奈川県芸術舞踊祭No. 103)」入場者延べ数：2,000人、「第49回神奈川県名流三曲祭」入場者数：500人

	<p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第50回クリスマス音楽会『メサイア』演奏会」入場者数：864人</li> </ul> <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽堂ニューイヤー・コンサート 日本の音でお正月！」入場者数：610人</li> </ul> <p>【2月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽堂アフタヌーンコンサート 「小菅優ピアノ・リサイタル」入場者数：508人</li> <li>・「神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期音楽堂シリーズ第6回」入場者数：425人</li> <li>・共催公演「第39回神奈川県合唱フェスティバル～ジュニアの祭典～」入場者数：900人</li> </ul> <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽堂アフタヌーンコンサート 「小菅根真ピアノ・コンサート」入場者数：887人</li> <li>・音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ15「ラ・プティット・バンド J.S. バッハ『マタイ受難曲』」入場者数：965人</li> </ul>	
<p>事業：子ども・青少年へ音楽体験を提供する企画を積極的に実施</p>	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども・青少年のための公開リハーサル」※7月と2月にも実施。入場者数延べ：56人</li> </ul> <p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！アウトリーチ オーケストラがやってきたin三浦市」鑑賞者数：299人</li> </ul> <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！関連企画『ジュニア・スタッフ養成講座』」参加者数延べ：20人、『バックステージ・ツアー&amp;ミニ・コンサート』参加者数：207人、『英国人音楽家によるワークショップ』参加者数：97人、『はじめてでも楽しめる 公開リハーサル』入場者数：127人、『指揮者・金聖響さんとの対話の広場』参加者数：48人、『公開ゲネプロ』入場者数：59人</li> </ul> <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽堂子ども版建築見学会」入場者数：191人</li> <li>・「音楽堂『メサイア』未来プロジェクト」（会場：音楽堂、相模女子大学グリーンホール、昭和音楽大学）※12月まで断続的に継続、参加者数延べ：131人</li> </ul> <p>【1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高校生による『メサイア』全曲演奏会～県立音楽堂『メサイア』未来プロジェクト～」（会場：杜のホールはしもと）入場者数：370人</li> </ul>	

事業：外部資金の確保	外部資金の獲得状況 1. 法人賛助5,700千円、個人賛助210千円、個別協賛4,415千円、広告協力550千円、チケット購入協賛122千円 ※財団全体・年間での実績値。 2. 助成金 ・文化庁劇場・音楽堂等活性化事業（活動別支援事業）7,869千円	
------------	---	--

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等

## 5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※1	167,682	171,344	169,143
対前年度比		102.2%	98.7%
目標値	151,100	152,700	152,700
目標達成率	111.0%	112.2%	110.8%

目標値の設定根拠： 経営改善目標

利用者数の算出方法（対象）： 主催事業は指定管理者が確認、共催・貸館事業は主催者からの報告による（対象者：施設への来館者、利用者）

[ 参考：最大利用可能人数／年 ]

	ホール					合計
定員	1,054					
年間利用可能日数	299					
最大人数※1	315,146	0	0	0	0	315,146
稼働率※2	84.90%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

※2 稼働率 = 施設が利用があった日 / 年間利用可能日数

## 6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口に常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時実施するアンケート (2) 詳細アンケート アンケート用紙を利用者に一斉に送付し、回収・分析するなど、詳細な内容で定期的実施するアンケート	「満足」が6件、「どちらかといえば満足」が1件で、「不満足」「どちらかといえば不満足」の回答はなかった。 なお、音楽堂の利用回数については「5～10回目」「11回以上」がそれぞれ3件ずつで最も多く、その他のアンケート項目「施設・設備を利用した感想」「職員の対応」についても、「良い」「どちらかといえば良い」という回答のみであり、施設管理者の対応が、利用者から高く評価されていることが伺える。

### [ 施設としての総合的評価 ]

質問内容 今回、施設をご利用いただいた全体的な印象をお聞かせください。

実施した調査の配布方法 用紙配布 回収数/配布数 7 / 13 = 53.8%  
 配布(サンプル)対象 施設(貸館)利用者

	良い	どちらか といえば 良い	ふつう	どちらか といえば 悪い	悪い	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
施設としての総合的評価の回答数	6	1		0	0	7	
回答率	85.7%	14.3%		0.0%	0.0%		
前年度の回答数	10	0	2	0	0	12	
前年度回答率	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	102.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### [ 参考：職員の対応状況 ]

質問内容 ご利用当日の職員の対応はいかがでしたか。

実施した調査の配布方法 用紙配布 回収数/配布数 7 / 13 = 53.8%  
 配布(サンプル)対象 施設(貸館)利用者

	良い	どちらか といえば 良い	ふつう	どちらか といえば 悪い	悪い	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	6	1		0	0	7	
回答率	85.7%	14.3%		0.0%	0.0%		
前年度の回答数	11	0	1	0	0	12	
前年度回答率	91.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	93.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

### [ 参考：その他 ]

利用者以外を対象とした満足度調査（施設としての総合的評価の満足の割合（%）/職員の対応状況の満足の割合（%））

- ①来館者アンケート（主催・共催事業）、配付：864件、回答：76件（98.2%/100%）
- ②来館者アンケート（貸館）配付：3,000件、回答499件（95.9%/-%[項目なし]）
- ③WEBアンケート：回答：1件（100%/-%[項目なし]）

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	176,157	34,900	32,834	備考のとおり	243,891	243,891	0	100.00%
	決算	176,157	37,056	37,699	備考のとおり	250,912	250,897	15	100.01%
前年度	当初予算	181,192	36,205	107,308	備考のとおり	324,705	324,705	0	100.00%
	決算	181,192	36,649	111,185	備考のとおり	329,026	329,015	11	100.00%
27年度	当初予算	181,192	36,515	54,200	備考のとおり	271,907	271,907	0	100.00%
	決算	181,192	36,563	54,371	備考のとおり	272,126	270,922	1,204	100.44%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数						(単位:千円)
27年度 /	0	前年度 /	0	前々年度 /	0	

<p>&lt;備考&gt;</p> <p>【その他収入の内訳】</p> <p>(前々年度・当初予算) 事業収入：25,278、受託収入：360、補助金等収入：6,696、寄付金収入：500  (前々年度・決算) 事業収入：23,941、受託収入：240、立替収入：271、補助金等収入：7,502、寄付金収入：990、雑収入：5、特定資産取崩収入：4,750  (前年度・当初予算) 事業収入：42,540、受託収入：360、補助金等収入：50,000、寄付金収入：500、特定資産取崩収入：13,908  (前年度・決算) 事業収入：40,205、受託収入：248、立替収入：196、補助金等収入：48,270、寄付金収入：555、雑収入：663、特定資産取崩収入：21,048  (27年度・当初予算) 事業収入：37,040、受託収入：360、補助金等収入：10,600、寄付金収入：2,500、本部繰入金収入：700、特定資産取崩収入：3,000  (27年度・決算) 事業収入：36,395、受託収入：248、立替収入：190、補助金等収入：7,869、負担金収入：155、寄付金収入：3,653、雑収入：101、本部繰入金収入：700、特定資産取崩収入：5,060  ※平成26年4月1日より消費税率改定(5%→8%)</p>
---

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ] ※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 1,000 千円以上 )

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
5月13日(水)	朝、ホール外壁北側屋上部分で、屋根破風部分のコンクリート片が落下しているのを発見した。けが人はなし。	建物外壁コンクリートの経年劣化によるもので、定期的に県が実施する建物劣化診断では、問題ないとされていた箇所であった。	①他に落下の恐れのある箇所がないかを確認し、隣接する県立図書館と連携して、付近を通行する利用者に注意を促すなど安全確保に努めた。また、9月29-30日に危険箇所の補修を行った。 ②5月13日に現地へ臨場し、他に危険な箇所がないか確認を行った。 ③指定管理者の責任はないが、リスク分担に基づき、指定管理者が応急的な補修を行った。
8月14日(金)	朝、ホール舞台上すのこ部分に躯体天井部分から小さなコンクリート片が落下しているのを発見した。けが人などはなし。	5月13日に発生した事故同様、建物コンクリートの経年劣化によるもの。	①他に落下の恐れがある箇所がないかを目視で確認。また、12月15日に落下を防ぐ為の応急処置を行った。 ②8月18日に現地へ臨場し、他に危険な箇所がないか確認を行った。 ③指定管理者の責任はないが、リスク分担に基づき、指定管理者が応急的な補修を行った。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。